

## SGH講演会（水班）を開催しました！

5月2日（火）大塚耕司教授（大阪府立大学現代システム科学域長）をお招きし、SGH講演会を開催しました。水班と医療班の17名が参加し、ベトナムのハロン湾（世界遺産）を中心に大塚先生が取り組んでおられる水環境改善活動に関する講義を聴講しました。JICA、堺市、ベトナムのクアンニン省等と連携し、マングローブの植樹、小学校での環境授業、アクリルたわしの普及による生活排水の改善、水上村での生ごみのコンポスト化、ナマズの解体油やバイオディーゼル燃料（BDF）を使用した海上輸送やゴミ運搬船の建造、炭鉱跡地でのBDF原料樹種生育調査など持続可能な社会構築に向けた「住民参加型資源循環システム」や「廃棄物循環システム」について見識を深めました。

講義後は多数の質問や活発な意見交換が行われ、参加した生徒からは「大塚先生の研究のように、私たちの研究も何か子どもたちに伝えられるようなことにしたい」「自分もマングローブ植林などをして、海外の同じ年くらいの人々と色々なことを話してみたい」などの感想が聞かれました。今後の研究活動をさらに発展させるために、有意義な研修となりました。



## 研究室訪問・意見交換会①（環境科学部）

5月2日（火）水班の代表生徒8名が長崎大学環境科学部を訪問し、井口教授と飯間准教授との意見交換会を行いました。主に東南アジアの水事情、水環境や水質についての研究について、2班に分かれて生徒達からの質問に回答していただきました。60分の予定が、15分間オーバーするほど活発に意見交換をさせていただき、各班とも、設定していたテーマを根底から覆された様子でした。参加した生徒は「1つの現象を捉える場合にも、様々な要因が関係しているということがよくわかった」「私たちが考える幸せと、現地の方々が考える幸せとが一致していないことがわかり、私たちの視野を広げる大切さを感じた」と述べていました。

